

プロフィール

鈴木崇弘 (すずき たかひろ)

厚生労働省参与

城西国際大学大学院国際アドミニストレーション研究科客員教授

宇都宮市生まれ

東京大学法学部卒

マラヤ大学、イースト・ウエスト・センター奨学生として同センターおよびハワイ大学大学院等に留学
(政治学・未来学専攻修士号取得)



総合研究開発機構、日本国際フォーラム、笹川平和財団、日本財団勤務、東京財団の設立に参画し同財団研究事業部長、(社)アジアフォーラム・ジャパン上席研究員、大阪大学特任教授・フロンティア研究機構副機構長、自由民主党党改革実行本部シンクタンク準備室長、自民党系の政策研究機関である有限責任中間法人「シンクタンク 2005・日本」の設立に参画し同機関理事・事務局長、中央大学大学院公共政策研究科客員教授などを経て現職。91年—93年までアーバン・インスティテュート(米国)アジャクント・フェロー。現在法政大学大学院兼任講師、PHP 総研客員研究員&コンサルティングフェロー、Yahoo! ニュースのオーサー、日本政策学校理事・共同代表、グローバル政策イニシアティブ(GPI)顧問、政策基礎研究所(EBP)顧問等も務める。関西ニュービジネス協議会学生ニュービジネス大賞 2004 選考委員長。大阪駅北地区国際コンセプトコンペ優秀賞受賞(共同提案者、2003年)

主な著書・訳書 “*Policy Analysis in Japan*” (分担執筆)、『僕らの社会のつくり方…10代から見る憲法…』(共編著)、『学校「裏」サイト対策Q&A～子どもを守るために～』(共著)、『日本に「民主主義」を起業する…自伝的シンクタンク論』(単著)、『できる総理大臣のつくり方』、『世界のシンク・タンク』『政策形成と日本型シンクタンク』『政策形成の創出』 “*A Japanese Think Tank*” (共編著)、『政策科学の新展開』、『ハンドブック・市民の道具箱』、『日本再生のトータルプラン』、『政策形成』(分担執筆)、『シチズン・リテラシー…社会をよりよくするために私たちにできること』(共編著)、『アメリカに学ぶ市民が政治を動かす方法』(監訳および共訳)、『社会を変える教育』(翻訳)など。その他英和文での論文多数

現在の専門および関心分野

民主主義の起業、政策インフラの構築、新たなる社会を創出していける人材の育成さらに教育や統治における新システムの構築